



片瀬山防災だより

創刊号 2006年8月31日

大地震発生時には、消防や救急など行政機関の初期活動能力は著しく低下します。そこで、出火防止・初期消火・被災者の救出救護は住民自らが行わなくてはなりません。更には円滑な避難所運営も求められます。これに備えて片瀬山防災会は、5つの自治会にまたがる地区住民の連帯と共助に基づく防災体制を整えて、被害の軽減を目指します。

創刊のご挨拶：

片瀬山が住宅地として昭和40年代に開発され、順次1丁目～5丁目各自治会が組織され、各丁目に自主防災会が設立されました。その後現在まで40年近く片瀬山に大きな地震風水害はなく、防災会も有名無実、休眠状態にありました。

平成16年～17年に連合自治会の有志により「片瀬山の防災を考える連絡会」が発足し、片瀬山全体の防災対策のあり方を検討する為に多くの方々のご意見を積み重ねて、本年4月1日に連合自治会組織として「片瀬山防災会」が設立されました。活動の柱を①広報 ②災害対策 ③行政対応とし、その広報活動のメインとして「片瀬山防災だより」を刊行することになりました。



「災害は忘れた頃にやってくる」。その為に常に防災活動に関心を持ち、「いざ」と言う時の行動に備えましょう。(片瀬山防災会会長代行 岩本義久)

防災会が目指していること：

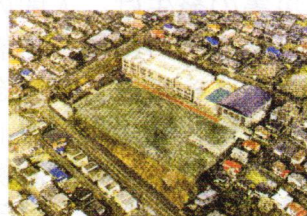
(会のマークは災害除けの神様・風神)

- ☆各家庭での防災の備え・・・防災意識の浸透、マニュアルの整備
- ☆近隣助け合いの仕組みづくりと備え・・・自助7割、公助3割の意識啓発
- ☆片瀬山地区全体での防災体制づくり・・・防災訓練、避難所運営への備え



大きな地震は必ず来ます！その時どうする？：

- ① 室内は散乱、家具は倒れる
- ② ガスの元栓は閉じた？ ブレーカは落とした？
- ③ 一応無事に屋外に脱出できた → 我が家の家族は大丈夫？
- ④ お隣は高齢者世帯、大丈夫かな？ → 様子を見なくちゃ
- ⑤ 近所でつぶれた家がある → 中の人？火は出していないか？
- ⑥ 余震もあるし、今夜は家で眠れそうもない
- ⑦ 水道も出ない、ガス、電気も止まっている → 食事はどうする？
- ⑧ 水洗トイレが使えない → 風呂の水はあるが配水管は壊れてるかも？
- ⑨ 避難所（片瀬中学）に行ったほうがいいのかな？
- ⑩ 近所の皆さんはどうするのだろう？



避難所・片瀬中学校



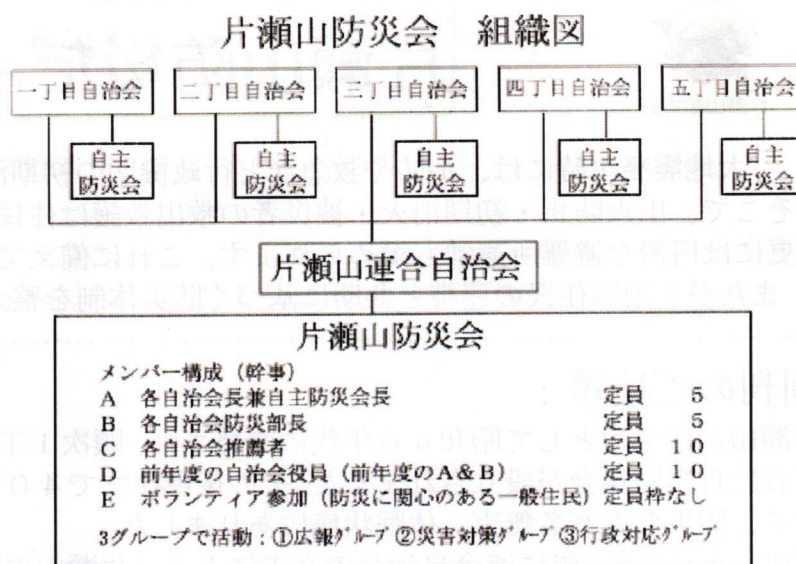
防災会の組織：

片瀬山防災会は5つの自治会にまたがる片瀬山地区全体の防災体制を整えるための組織です。

幹事メンバーは当年度の各自治会における自主防災会の役員10名、前年度の同役員10名、各自治会推薦のメンバーで構成されます。

（18年度は26名の幹事）。

尚、各自治会から防災に積極的な関心のある方に防災ボランティアとして加わっていただき、災害発生時の対処がスムーズに展開できるようにしていく構想も暖めています。



家族で、みんなで考えましょう！：

- ① いざという時、家族間の連絡はどうしますか？
- ② 東京に行っている人との連絡はどの様にする事になっていますか？
- ③ 家族の避難場所はどこですか？
- ④ 自宅からの避難路は決まっていますか？
- ⑤ 危険な家具は固定されていますか？
- ⑥ 防災用品はそろっていますか？
- ⑦ お隣と話し合ったことはありますか？



家族防災会議

「備えあれば憂い無し」日頃からの心がけが大事です。みんなで話し合ってみましょう。

片瀬山防災の知恵情報をお届けします。：

災害の発生は、人間の力で防ぐ事は出来ませんが、被害を軽減する事は、我々の努力により可能です。事前の適切な対策を日頃から考え、実行する事は、被害を最小限にするために不可欠です。

「片瀬山防災だより」は片瀬山の实情にあった情報を継続してお届けします。また講習会や防災訓練などについても順次お伝えします。

防災対策や取り上げるテーマについて、皆様のご意見・ご提案をお待ちしています。



防災知識を貯めよう。防災ファイルは一家に一冊！：

片瀬山防災だよりはいざと言う時の為に、重要な資料となります。

見易い、使い易いクリアーファイルで、各自が手持ちの防災についての資料も含めて、一冊にまとめて保存して下さい。

クリアーファイルは皆さん共通の資料なので、災害に対処する時に有効です。家族全員が目につく所に保管しておきましょう。

クリアーファイルの購入については防災会より各自治会に検討をお願いしています。



編集後記：編集委員は仁科、本澤、青木、長島、鈴木、宇田川、佐藤です。年4回（8、11、2、5月）発行します。関係者のご協力をお願い致します。



発行：片瀬山防災会

〒251-0033 神奈川県藤沢市片瀬山3-22-9
電話0466-25-6739 ファックス25-2222（岩本）